

各 位

2026年3月3日
株式会社G S Iクレオス
経営企画部 企画広報課

防衛装備庁「安全保障技術研究推進制度タイプS」支援による 最先端多機能性塗膜の先進的研究成果を発表 —産官学連携による技術革新を推進—

株式会社G S Iクレオス（東京都港区／代表取締役 社長執行役員 吉永 直明、以下 当社）は、防衛装備庁が主催するワークショップにおいて、「安全保障技術研究推進制度 タイプS」を受けて国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)および一般財団法人高度情報科学技術研究機構(RIST)と共同開発している「実験・計算科学の融合による革新的塗膜創製と機序解明の研究」の研究開発成果について、当社フェロー柳澤が発表いたしました。

2026年2月に開催されたワークショップでは、防衛省、防衛装備庁、自衛隊、企業等、公的研究機関、大学等、日本の安全保障を最前線で担う幅広いステークホルダーが一堂に会し、最先端技術の情報共有と議論を行う重要な機会となっています。数多くの研究機関の中から本年度の発表機関として当社が選出され、現在研究中の多機能性塗膜、および複合体の技術について、その研究成果ならびに将来的な安全保障分野への具体的な応用展開の可能性について報告いたしました。

【発表した研究成果の概要】

G S Iクレオスが開発を進めている多機能性塗膜、多機能複合体は、当社独自のカーボンナノチューブ(CNT)を充填することで、従来の性能を大きく上回る機械的特性、機能性・耐久性・環境適応性など多様な性能の付与を目指しています。本技術は、次世代に向けた性能向上やライフサイクルコスト削減、安全性強化に大きく貢献することが期待されています。

【ワークショップでの議論・展示】

ワークショップでは、当社の研究開発の背景、成果概要、今後の実用化に向けた課題や展望、他機関との連携の可能性などについて詳細に説明いたしました。また、本制度における開発品だけでなく、当社が独自に開発した他の CNT 関連製品群の展示や次世代太陽電池「有機薄膜太陽電池(OPV)モジュール」の実装提案も行い、参加者の皆様との活発な意見交換を実施いたしました。各省庁が想定する現場で求められる多様なニーズや、新たな用途提案など、多角的な視点から貴重な意見を頂きました。

【今後の展開】

当社は、ワークショップで得られた知見や提案を活用し、今後も防衛装備庁をはじめとする産官学のパートナーと連携しながら、より実用性・汎用性の高い技術開発を推進してまいります。また今回の成果を礎に、民間分野への応用可能性も視野に入れた研究開発を進め、社会全体の安全・安心に貢献する技術イノベーションを追求してまいります。

当社は、世界最先端のナノテクノロジーと有機エレクトロニクス技術による社会と安全保障分野への貢献を通じて、持続的成長と企業価値の向上を図るとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

【G S Iクレオスとは】

G S Iクレオスは、国内に 9、海外に 27 の事業拠点を持ち、“繊維”と“工業製品”の両事業をグローバルに展開する事業創造型商社です。繊維原料から、生地、アパレル製品、化学品、ホビー商材、機械、半導体部材、ナノテクノロジーまで、国内外のネットワークを駆使して幅広く事業を展開しています。「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」というパーパス（存在意義）のもと、ESG 経営を推進し、社会課題の解決と人びとの幸せの実現を目指しています。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社G S Iクレオス 経営企画部 企画広報課 Tel 03-5418-2122